

2014 年制定 複合構造標準示方書 正誤表

設計編 I 合成はり編 (pp.198～199)

誤	(b) 死荷重合成はり 死荷重合成はりの照査に関しては、式(解 4.2.9)において、合成前の死荷重による曲げモーメントを 0 とし、合成後の死荷重による設計曲げモーメントのみを考えればよい。
正	(b) 死活荷重合成はり 死活荷重合成はりは、死荷重、活荷重ともに、合成はり断面で抵抗することになる。そこで、照査は、式(解 4.2.9)において、第 1 項目を無視し、第 2 項目の合成後の死荷重による設計曲げモーメント M_{d2d} を合成前も加えた死荷重による設計曲げモーメント M_{dd} として、式(解 4.2.9a)により行ってよい。 $\gamma_i \left(\frac{M_{dd} + M_{ld}}{M_{vud}} + \frac{M_{shnd}}{M_{vuds}} \right) \leq 1.0 \quad (\text{解 4.2.9a})$ ここに、 M_{dd} : 死荷重による設計曲げモーメント